

Q&A

Q. 自分で本が読めるようになったら読み聞かせは必要ない？

A. ひとりで本が読めるようになったとしても文字を読むこととおはなしを聞く喜びは別のもので、子どもはおはなしを楽しんでいるだけでなく、読んでくれる大人とのスキンシップを求めています。お子さんが「読んで！」と言ってくる間はぜひ読んであげて下さいね。

Q. 同じ絵本ばかり読んで持つてきますが！良いでしょうか？

A. お気に入りの絵本を大好きな人に何回も読んで読んでもらえまことはその子にとって幸せな時間です。同じ本でも、子どもは読むたびに新しい発見をし、内容を深めており、本が好きになる第一歩となります。

Q. 忙しい？読み聞かせの時間が取れません...

A. 子どもの成長はあつという間です。「絵本読んで!!」とせがまれる時間も残念ながら、そう長く続くものではありません。「めんどくさいなー」...そんな風に思っていた10分は、子どもが大きくなって振り返ると、かけがえのない宝物のような時間です。毎日ではなくてもいいので、5分程度でも時間を作ってみませんか？

Q. スマートフォンの動画での読み聞かせは...

A. 子どもは、読んでくれる大人の生の声の温みを感じています。紙の絵本をめくる楽しさもあります。絵本の持つ力を生かすためには、直接読み聞かせをするのが効果的です。

子ども時代に楽しんで本や読んでもらった体験。その嬉しさは、いつまでも心に残り、生きる力としてこの子の人生を支えます。



- ふゆといえは
- とらたとおおゆき
- チリとチリリ〜ゆきのひのおはなし〜
- わんぱくだんのゆきまより
- てぶくろ
- きりあそび
- 14ひきのさむいふゆ
- てぶくろをかいて
- かまぼこ
- ミビきのやぎのがらがらどん
- バムとケロのさむいあさ
- アダメちゃんとうまぎちゃん
- こぞんこゆきだるま
- ゆきのひのゆうびんやさん
- ないたあかあに



食の本



あいてのきもちをかんがえて「ことばえらび」をしよう!!
ご家庭でも子どもと一緒に考えてみてはいかがでしょう？



(偕成社)

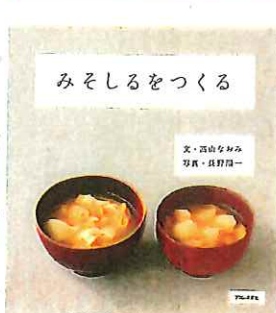
箸の持ち方を伝えるの、てぶくろがしおゆみね。園でも少しずつ楽しく練習できるようにしていきます。お家でもぜひゆりのあそびに一緒に取り組んでみて下さいね。



おにぎりをつくる
高山なおみ・文
長野陽一・写真



(ポロズ新社)



みそしるをつくる
高山なおみ・文
長野陽一・写真

みそしるの作り方は、心も身体もあたたまりまわね。

用意するのは、お米・塩・水だけ。5歳でも作れる、ほっかまの提案です。
園でもみかんめろんぶどうさんはお米とぎのお手伝いをして、ラップおにぎりを作ったりしています。



ほかにも色々ありますよ！

いつも料理に使う、野菜たち。切れ端を育ててみれば...あら、不思議。身近な野菜に潜む生命力が感じられる写真絵本。